

11/23 熟睡プラ寝たリウム



「勤労感謝の日」のこの日、市立天文台では寝ることを目的としたプラネタリウムを開催。睡眠についてのミニ講演会の後、参加者は心地よい音楽と名寄の星空を眺めながら、日頃の疲れを癒しました。

寝るためのプラネタリウム

11/22 風連中央小1年生と幼稚園・保育園との交流



風連中央小学校1年生の生活科の授業でどんぐりや落ち葉などを使って釣りやこま、的あてなどの遊べるブースをつくり、招待した風連幼稚園とさくら保育園の園児19人をおもてなしました。

お兄さんお姉さんたちと楽しく遊ぶ

12/1 東児童クラブがオープン



12月1日から市教育委員会が運営する新たな学童保育施設「東児童クラブ」が開所しました。同クラブは名寄東小学校の東側にある名寄消防団第1分団の建物を改修し開設したもので、主に名寄東小学校の児童が利用します。この日には開所式が行われ、クラブを利用する子どもたち25人やその保護者などが集まりました。また、式の後には、最初のイベント「はじめましての会」を実施。児童支援員と子どもたちそれぞれが一人ずつ自己紹介をした後、みんなで楽しくゲームを行いました。

地域住民待望の児童クラブがスタート

12/3-4 南相馬市の「野馬追の里健康マラソン大会」に出場



市内の小学生8人が12月4日に福島県南相馬市で開催された「第29回野馬追の里健康マラソン大会」に参加、またその前日(3日)に行われた「第5回みらい子ども交流事業」にも参加し、南相馬市などの子どもたちと交流を深めてきました。名寄に帰ってきた後、7日に市役所名寄庁舎を訪れ、加藤市長に出場報告を行いました。子どもたちはそれぞれ「楽しく走ってとてもよかった」「満足いく順位でなかったのでリベンジしたい」「名刺交換をして仲良くなりました」などマラソン大会や交流会での思い出や感想を述べ、成長した姿を見せていました。

マラソン大会に参加したほかに交流も



まちの地域資源を利用して国際交流

12/8-9

## 台湾の高校生が教育旅行で名寄市を訪問



市では、平成25年度から国際化の進む社会のさまざまな分野で活躍できる子どもの育成、交流人口の拡大による地域の活性化を目的に、台湾との交流事業を推進しています。12月には、台湾の国立民雄高級農工職業学校の高校生27人が教育旅行で名寄市に滞在しました。滞在中にはそり遊びやカーリング体験など名寄の冬を体験したほか、市長表敬訪問、名寄産業高校で同校生徒との交流授業も行いました。また、今年度においては、10月23日・24日の日程で同じく台湾の国立員林高級中學の高校生も名寄を訪れ、交流を深めています。



12/13

## サンタが名寄にやってきた！



名寄ロータリークラブの社会奉仕活動として、フィンランドからサンタクローズを招待し、市内5カ所の保育所や幼稚園を訪問しました。サンタさんに会えた子どもたちはとても嬉しそうでした。

サンタさんと楽しく交流



12/9

## 親子お出かけバスツアー「もちつき」



風連日進コミュニティセンターで開催。親子73組が風連日進地域のおじいちゃんおばあちゃんがついたつきたてのおもちをあんこやきなこ、お雑煮などで楽しみました。

小さな子どもたちも、もちつきに参加



PICK UP

## 永井選手がワールドカップで活躍



バイアスロン海外派遣選手の永井順二さん（名寄市在住）がワールドカップ日本代表に選出され、第1戦で混合リレー競技（11月27日）、第2戦で男子リレー競技（12月11日）に出場しました。

このほかにIBUカップにも出場しており、今後も活躍に期待



12/17

## 第47回 名寄ピヤシリジャンプ大会



ピヤシリジャンツェで開催され、道内外から女子32人、男子90人がエントリー。選手たちのアーチ合戦が繰り広げられ、女子は高梨沙羅選手、男子は小林潤志郎選手が優勝しました。

スキージャンプの国内開幕戦初戦

ホームページのほかに市公式フェイスブック（12月20日現在、2064いいね！）でもまちの出来事を紹介しています。ぜひご覧ください。